看護連盟しりつて

■発行所/岩手県看護連盟 〒020-0021 盛岡市中央通3-11-6 グランディール中央3F TEL/019-625-7666 FAX/019-625-7637

E-mail/kanren-iwate@eins.rnac.ne.jp

- ■発行責任者/小林 長子
- ■印刷 所/永代印刷(株)

日本看護連盟 スローガン 「届けよう看護の声を! 私たちの未来へ」

~看護政策実現のため国政に代表を送る~



Contents

岩手県・日本看護連盟会長/岩手県看護協会会長あいさつ ② 国会議員国政報告	0
令和5年度新役員・新支部長あいさつ	
青年部活動報告/政策懇談会	
	岩手県看護連盟
入会のご案内	ホームページ

2023年度会員数 2023年10月10日現在

看護連盟	会員	1,661名
賛 助 会	: 員	159名
看護協会	会員	···· 7,687 _名
加入比	∫ 率	21.6%

総会を終えて

岩手県看護連盟会長 小 林 長 子

今年の夏は、熱中症アラートが出るほど、真夏日が続きましたが、会員の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

新型コロナウイルス感染症は、今年の 5月から感染症法上で5類に移行し、日

常行動が緩和されました。しかし、お盆の帰省などで人流が増え感染者が増加傾向になりました。対応に当たられている看護職の皆様には感謝いたします。

さて、今年度の総会を5月27日に開催し、全ての提出議案に ご承認を頂きました。

新たに、北川副会長・伊藤幹事長等の役員を迎えて活動が スタートしております。

スローガンは、"届けよう看護の声を!私たちの未来へ"です。皆様の現場の声を看護連盟に届けてください。政策提言に繋げ、国会議員へ繋げ、看護職の職場環境、処遇改善に繋げていきましょう。

この3年間でコロナ対応の慰労金支給や診療報酬の改定、 さらに「医療職俸給表(三)」の改正が行われました。看護連盟・看護協会・看護職代表の国会議員三者による成果です。

重点目標は、"見える活動 行動する会員 確かな組織づくり"です。会員・非会員の皆様に理解して頂けるよう、連盟活動が見えるよう発信していきます。会員の皆様に行動する会員になってほしいと思っています。さらに、看護連盟を強い組織にするためには、一人でも多くの看護職が会員になることです。看護の専門職として看護職の問題は看護職自身で解決し、看護の未来へ紡いでいきましょう!

岩手県看護連盟は、これからも「看護職のために」頑張って 活動していきます。

ご支援・ご協力をお願い致します。

最後に、今年の岩手県は、地方選の年でした。知事選・県議選では、看護連盟として精一杯の応援をしました。当選された県議の皆様と連携して医療・看護・介護・福祉の課題解決に向かって行きたいと思います。応援をありがとうございました。

ごあいさつ

日本看護連盟会長 髙 原 静 子



皆様には平素より日本看護連盟事業 にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げま す。

新型コロナ感染症が「5類」に引き下げられ、患者数は緩やかに増加している状況です。今なおコロナ禍にあり、最前線

で対応して頂いている看護職の皆様に改めて感謝と敬意を表します。

この度、2023年度日本看護連盟総会で次期参議院の組織内候補予定者に「石田まさひろ参議院議員」が決定しました。看護職域代表の議員として2022年来の看護職の「補助金事業」「看護職員処遇改善評価料」の創設、「国家公務員医療職俸給表(三)」の改正と看護職のために尽力していただきました。皆で応援しましょう。

新型コロナウイルス感染症の対応に翻弄させられた3年余りが過ぎ、医療現場では医師の働き方改革の施行、タスクシフト・タスクシェアの推進や業務の効率化等に迫られてい

ます。さらに、人口減少が進み労働人口が減少、人員確保が困難な状況を迎えます。

骨太の方針2023年や規制改革法案では、「患者中心のケア提供の強化」、「多職種と連携・協力」による総合的なケアの質を向上させることや看護職自身の「専門知識とスキルを向上」により、より高度なケアが提供できるようにすることが求められています。

このような状況下で、看護職が「職場環境改善に積極的に参加」し、健康な労働環境を創り上げること、適切な看護を提供するために法律や規制を理解し、遵守した対応も大切です。このように、医療・介護一体化改革において、看護師の役割と貢献は非常に重要です。

看護職が経験や意見を発信し、政策提言や改善案の提案に参画することで、看護界全体の向上に寄与できます。政策に対する積極的な関与が重要です。看護職議員はもとより看護を支援してくださる各級議員、日本看護協会・都道府県看護協会が一丸となり、政策実現に向け進んでまいりましょう。

ごあいさつ

公益社団法人 岩手県看護協会会長 相 馬 一二三



皆様方には、日頃より当協会の事業 の推進にご協力とご支援をいただき、心 より感謝申し上げます。

最近は、新型コロナウイルス感染症が 再燃し、クラスターが発生しています。

皆様には、日々、ご尽力いただいてお

りますが、先ずは、ご自身の体調管理とメンタルヘルスケア など労っていただきいと思っております。

さて、看護を取り巻く課題は山積しております。その中でも、人材確保が喫緊の課題です。また、岩手県看護連盟・岩手県看護協会の会員の加入促進についても共通の課題となっております。

「2023年度日本看護連盟都道府県別会議」が9月に開催され、私もオブザーバーとして参加させていただきました。その時の感想を情報提供させていただきます。

会議のテーマは、「会員確保対策」で、各支部の取り組みについて発表がありました。

ある看護部長が「当院では看護部の方針として、看護連盟・看護協会には、全員が加入することを目標にしていま

す。」また、「看護管理者が率先して処遇改善にも声を出していかないと…」などの発表がありました。現在は、看護管理者が加入を勧めると「パワハラ」と言われる時代であること、処遇改善に対しても看護管理者が苦慮していることも実感しております。このような中でも、看護管理者が、信念をもち提言していただいていることに感銘と心強さを感じました。

また、日本看護連盟からは、加入促進について福井県の好事例の紹介がありました。福井県では、看護管理者だけではなく、新人オリエンテーションや研修会(リーダー研修会)などを利用し、主任看護師等が加入を勧めているということでした。好事例については、当協会でもさっそく、役員に情報提供し、実践していきたいと思っています。

会員の加入促進については、それぞれの病院の実情もあるかと思いますが、岩手県看護連盟・岩手県看護協会の組織力や発信力を強化し看護を発展するためにも基盤強化が大切です。皆様には、引き続きご協力をお願い致します。

結びになりましたが、岩手県看護連盟のますますのご発展と皆様方のご健康を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。

少子化社会におけるこれからの看護 衆議院議員 あ べ 俊 子

いつもご支援いただきましてありがとうございます。このたび、看護師確保のための基本指針が約30年ぶりに改定され、人材不足の解消策や新たな感染症発生への備えが盛り込まれます。看護職員の数は90年代の約2倍になったものの、高齢社会を支えるためにはより多くの看護人材が必要と試算されています。特に在宅医療の需要の高まりから訪問看護ステーションの看護師不足は深刻です。今回の改定は、看護職員の処遇改善や、デジタル化の促進、仮眠や休憩ができる場所の設置など、交代制勤務を考慮した業務負担の軽減を図る内容となっています。

産業界では技術革新が進み、多くの分野でDX化が進ん

できました。看護においても限られた 人材の中で効率性が求められていま す。記録や書類作成の自動化ができれ ば、患者さんと直接対話したり、ケアを 提供する時間を増やすことができるか



もしれません。デジタルの活用は看護師の仕事をより鮮明にするのではないかと考えています。この流れの中、来年度にはICT機器の導入による看護業務の効率化やケアの質についての効果検証が始まります。看護を『選ばれる職業』にしたい。看護師の新しい働き方を、皆さまと一緒に創り上げて参ります。

衆議院議員 たかがい恵美子



岩手県看護連盟の皆様におかれましては、平素変わらず後進の育成や看護政策の推進にご尽力を賜り誠にありがとうございます。たかがい恵美子も皆様の温かい励ましの下、衆議院では厚生

労働委員会、東日本大震災復興特別委員会に籍を頂戴しております。また党政調では引き続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長、女性の生涯の健康プロジェクトチームの座長を務め、先の国会では理解増進法を成立させていただきました。

来年度から始まる第三次健康日本21では、女性の生涯の健康が戦略の新たな柱となり、女性活躍・男女共同参画の重点方針2023等には、女性が尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現に向け、生涯に渡る健康支援が項立てされています。

年末には診療報酬と介護報酬の同時改定作業が本格化 しますので、技術に見合う報酬評価とライフコースに沿った 働き方改革のため、一層気を引き締めて精進して参ります。

参議院議員 石田 まさひろ

岩手県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り 誠にありがとうございます。

社会全体で賃上げが進む中、看護職も一層の処遇改善を 進めねばなりません。賃上げに必要な医療機関等の収入を 増やすために、診療報酬の大幅な引き上げと、全ての看護 職員の賃金引き上げを可能とするための財政措置を明示す ることを政府に求めています。また、看護問題小委員会を開 催し、令和6年度看護関係予算概算要求に対して各看護系 団体の要望を政府へ届けました。これからも皆様と協同し、 全ての看護職の処遇改善を確実なものにしていきます。 6月13日に開催されました、日本看護連盟通常総会において、次期参議院議員選挙の組織内候補予定者としてご承認をいただきました。初当選以降、組織代表の看護職議員として、看護協会が



提言する看護政策実現のため力を尽くして参りました。これからも現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動していきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

岩手県看護連盟の皆さまへ

参議院議員 友納 理緒



平素よりお世話になっております。参議院議員として、1年が経過しました。年始から始まった第211回通常国会も閉会し、少しほっとしています。

通常国会では多くの法律が成立し、

介護保険法の改正では看多機の定義が明確化されるなど、 看護に関する法整備も行われました。本国会では、所属する 厚労委員会をはじめ、内閣・法務などの委員会で質問の機 会をいただきましたので、様々な場で、看護の専門性の発 揮、訪問看護への支援の必要性などを訴えました。「訪問看 護の推進」については、来年度予算編成や重要課題への方 向性を示す骨太の方針2023に記載がされましたので、今後 の展開が期待されます。

現在、看護職のさらなる処遇改善、働き方、ハラスメント対 策等について、石田まさひろ先生とともに、厚生労働省の担 当者と話し合いを重ねています。少しでも政策が前に進むよ うに力を尽くします。

閉会中は、皆さまのもとへうかがう機会が増えます。現場の声を国政に!立法府である国会の一員という自覚を持ち、皆さまがより良い看護を提供できる環境を整えることができるように引き続き取り組んで参ります。

今後ともご支援賜りますよう心よりお願い申し上げます。

新役員あいさつ

副会長北川寿子



副会長の北川です。副会長として3カ月過ぎました。役員活動を通して、今、強く感じていることは、「一人ひとりの看護職が看護連盟

の役割・必要性を正しく理解し、看護連盟活動に 参画する」ことです。まずは、自分自身が連盟活動 に主体的に取り組み、多くの看護職に伝えていく 行動が重要であると感じています。微力ではあり ますが県役員・支部長の皆様と協働し取り組んで 参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。



幹事長 伊藤 京子

看護職として政治活動により課題を解決することは、専門職者としての責務の一つであることを改めて感じています。課題解決に向け

て「連盟活動の見える化」を目指し、政策の実現の ためにリーダーとなる看護職議員や保健医療改善 に尽くしてくれる方を応援していきます。自分から 次世代へ、そして未来のためにお力添え、お願いし ます。



顧 問 山下 キヌ

令和5年度通常総会で前任の 大坂茂子顧問から顧問を引き継 ぎました。どうぞよろしくお願い申 し上げます。

猛暑とコロナウイルス感染症拡大のなか、統一 地方選挙の熱い戦いがありました。

小林会長はじめ役員、支部長、会員皆様は一丸となり素晴らしい活動をして下さいました。

下半期は会員拡大と次期参議院議員候補予定 者の石田まさひろ氏の周知活動に専念して参りま しょう。

皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈り申し 上げます。

新支部長あいさつ



盛岡中央支部長 濱野 佳子

今年度より、盛岡中央支部の支部長を務めさせていただくことになりました、内丸メディカルセンターの濱野です。厳しい職場環境

や待遇改善するためには、医療現場の声を国会に届ける代表を国政に送ることが重要です。一人ひとりが看護連盟活動に対する理解を深め、会員増加につながるよう活動していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



花巻支部長 吉田 由美子

花巻支部長の吉田です。看護を 代表する議員を政策の場へ送るよ う、支部役員や会員と共に活動し て参ります。花巻支部は、当法人の

職員で構成され、看護職員の約80%が会員です。 他支部の活動を参考にさせて頂きながら、会員加 入目標の達成に向け、新採用者や賛助会員の入会 を勧めていきます。どうぞよろしくお願い致します。



宮古支部長白根ハマ

宮古支部の白根でございます。4 月から支部長職を務めさせていた だいております。

令和5年度も半年が過ぎようとしております。気持ちと行動は、まだまだスタッフのままです。先任の支部長と現幹事長はじめとする幹事の皆様の、ご助言と、ご指導をいただきながら、務めさせていただいております。

役をお引き受けしたからには、日本看護連盟の 綱領に沿い、岩手県看護連盟令和5年度スローガ ンに向け、小林会長初め役員の方々、先輩支部長 の皆様、そして宮古支部の役員、会員、賛助会員の 皆様のご指導と、応援をいただき、支部長としての 役割を果たしてまいりますので、どうぞ、宜しくお願 い申し上げます。

小泉進次郎衆議院議員に 会ってきました!

■ 全国代表者ミーティングに参加しました!!

青年部 大澤 眞子



6月12日(月)、2023年度全国青年部代表者ミーティングに聴講者として参加してきました。全体の参加者は県代表者47名、聴講者61名でした。コロナ禍でオンライン開催が続いていましたが、2019年以来の参集開催でした。

石田昌宏 参議院議員、友納理緒 参議院議員からのお話と、 青年部活性化委員会からの活動報告と今後の計画についての報 告、グループワークでの意見交換の後、小泉進次郎 衆議院議員 の講演会が開催されました。

小泉議員からはじめに、選挙で初当選した時は自民党は野党 であったが、その頃から変わらずに応援し続けてくれてありがと う、と看護連盟に対する感謝の言葉がありました。質疑応答で

は、「看護の専門性を高めても責任ばかり大きくなって給与に反映されない」「高給取りのイメージをもたれるが、看護職の給料は『寝たきり給料』と呼ばれている。そして、なかなか所得が増えない」という看護職が抱える課題について意見交換をしました。看護職では大きな問題と捉えられている給与に関する問題では、小泉議員は「厚労部会長時代にも聞いたことがない」と話していました。看護職が抱える課題は、看護職以外には知られていない現状があり、「看護連盟が声を上げるべきはこれですよ」との激励の言葉をいただきました。

看護職代表の国会議員のお二人から応援の言葉をいただいたことや、グループワークで他県の青年部の情熱に触れたこと、そして、小泉議員からの「青年部の活動を『楽しい』と思えるような日々を過ごせるように活動を続けてください」というエールを胸に、今後も活動していきたいと思いました。







■自由民主党岩手県支部連合会政策懇談会

副会長、佐々木、志津子

●開催日:令和5年5月 14日 (日) ●会場:アートホテル盛岡

自民党岩手県連からは藤原崇 会長他9名、岩手県看護連盟からは小林長子 会長の他に相馬 看護協会長や各看護団体代表の8名が参加し、国や県への要望事項や 意見交換を行いました。

藤原会長からは3年以上に渡るコロナ禍において医療従事者に対する感謝の意が表され、広い県土の中で地域の区別なく県民の医療福祉の提供に関する課題を明確にしていくとの意思表明が聞かれました。小林会長からは、看護連盟のスローガン「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」に基づき課題を3点述べました。①人材不足による看護の質確保の課題、②産科医不足による助産師活動の制限、③看護小規模多機能型居宅サービス(看多機)のモデルケース発進の要望について説明しました。

他の看護団体代表からもそれぞれの課題と要望事項が報告され、質疑応答では「人手不足に対する課題を、県と国と双方の働きかけで前向きに検討していく」方向性が伺え有意義な会となりました。1時間の限られた時間のために、十分に伝えきれない内容もありましたので、今後も具体的な看護の声を届けて連盟の活動に繋げて参ります。







令和5年度岩手県看護連盟通常総会報告 盛岡南支部長、中村、一美



令和5年度 岩手県看護連盟通常総会が、5月27日(土) トーサイクラシックホール 岩手にて開催されました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが、5月8日から「5類 感染症 | になり、感染対策を行いながら、コロナ以前のスタイルで総会を開催するこ とができました。

開会式では、来賓祝辞を、日本看護連盟 髙原静子 会長、岩手県看護協会 相馬一 二三 会長、自民党岩手県支部連合会会長代理の工藤勝子 様より賜りました。

また、長年御尽力いただいた大坂茂子 前顧問の特別表彰を執り行い、感謝の気持 ちをお伝えしました。

開会式後には、昨年の参議院選挙で、岩手県初の女性参議院議員として当選されました、広瀬めぐみ 先生をお招きし、 「国政報告 | ~ 岩手県初の女性議員としての活動~についてお話をいただき、国会での活躍が良く分かりました。

出席者は、会員164名 委任状1,233名 役員29名 計1,426名となり総会は成立しました。議長団進行のもと、令和4年度 全国会長会報告、事業報告、決算及び監査報告がありました。続いて審議事項の第1~5号議案の審議が全て可決され、議 事は滞りなく終了しました。

2023年度日本看護連盟通常総会代議員報告 医皮 医内 ヒトミ



2023年6月13日(火) ザ・プリンスパークタワー東京において開催された、日本看護連盟通 常総会に代議員として参加させて頂きました。髙原静子 会長と小阪佳代 副会長が就任後、初 めての総会でした。開会式では髙原会長より、新型コロナウィルス感染症対応と第26回参議 院選挙では友納りお議員を国政の場へ送り出した事への感謝の意が表されました。また、高 原会長の「看護連盟と看護協会がつながりを強化した政治力を遺憾なく発揮し、看護政策実 現のため共に進んでまいりましょう」という強い言葉から、看護連盟と看護協会の連携した活 動の重要性をさらに実感致しました。今年度の事業計画の重点方針は「見える活動、行動する 会員、確かな組織づくり | とされ、有意義な活動をしていくためには会員数の増加が喫緊の課 題であると再認識できました。第27回参議院議員選挙候補予定者には、石田昌宏氏が日本看

護協会と日本看護連盟一致で決定し、石田氏より心強い決意表明を直接聞くことができました。役員交代では、岩手県看護 連盟小林会長が幹事(中央役員)に就任されました。混迷期を乗り越えられた小阪副会長の安堵の笑顔と割れんばかりの 拍手が印象的な閉会となりました。







- A▶「選挙区選挙」と「比例代表選挙」の 2枚 です。
- Q▶どっちにも同じ人を書けばいいの??
- **A▶同じではありません。**

「選挙区選挙」は都道府県別に候補者の名前を書きます。 投票数が多かった人から順番に当選になります。

「比例代表選挙」は 全国を1ブロックとして 行われます。 候補者の名前または政党名を書きます。

候補者名を書いた場合は、得票数の多かった人から順番に当選 になります。

政党名を書いた場合は、各党の議席の獲得につながります。



レンコ

県役員・支部長研修会

4月22日(土)アイーナ501会議室にて、前友愛支部長の外舘和佳子 先生をお招きして友愛支部での活動について、具体的に講義いただきました。会員数を維持するための管理者の役割について具体的な取り組みの紹介があり、その内容を知ることができました。また、看護学生の段階から看護協会、看護連盟の連携について学ぶ機会を得ることで、入職後の現場での理解につながっていくと感じました。参加者からのアンケート結果からも、自施設での取り組みに取り入れたいという意見が多くありました。

また、若手会員による情報発信を行い、ベッドサイドケアや、処遇改善につながっていることの理解を深めることができるよう活動していきたいという感想も多く寄せられていました。大変満足度の高い研修会であったと感じました。



事 石森 由樹

リーダーセミナー

7月1日(土)、アイーナ803会議室において、「フットケアの知識を深め、看護実践に活用する」を目的に、岩手医科大学附属内丸メディカルセンター糖尿病看護認定看護師、菊池美千代 先生より「糖尿病患者の療養を支えるフットケア」をテーマに84名の参加のもと、リーダーセミナーが開催されました。糖尿病患者が足に関心をもてるように関わり、足のケアを通して患者の生活を理解し、それぞれに合ったきめ細やかなセルフケア指導の必要性を感じました。また、ケアを継続していく大切さを患者と共有し、フットケアに関心を持ち続け、継続した予防的フットケアを実践するためのチーム医療や糖尿病合併症管理料および加算についてなど、日常のケアに活かせる学びとなりました。講演内容は、糖尿病患者だけではなく、全ての人のフットケアに活かせる内容でした。





新規加入会員研修会

7月29日(土)アイーナ803会議室において、日本笑い学会東北支部 岩手県幹事である高橋綱紀 先生をお招きして「笑いの効用」のテーマでご講演をいただきました。新規加入会員や連盟会員を対象に54名の方が参加しました。笑いは、ストレスを減少させ免疫力をあげる、病気が治るといったお話や、実際にラフターヨガも体験することができました。参加者からは、「笑いの効果が思ったよりもあると思った」「職場でも活用したい」などの感想があり好評でした。人員不足や日々の多忙な業務に追われストレスを感じている看護職員の皆様の「クスリ」になる有意義な研修会になりました

幹 事 井上 祐子



今後の研修会のお知らせ

2023年11月4日(土)

13:30~15:00 アイーナ803

●会員研修会 テーマ「フィジカルアセスメントについて」

岩手医科大学附属病院 クリティカルケア認定看護師 小澤 昇 先生

2024年2月17日(土)

13:30~15:00 アイーナ803

●看護管理者研修会 テーマ「いわての看護の展望を共に考えよう」

岩手医科大学看護学部長 三浦 幸枝 先生

現

場

(7)

を

玉

政

会員は無料で研修が受けられます

看護連盟入会

身近な方にも 入会を おすすめ下さい!

会員目標数

2023年度 会員数1,661名

仲間の輪を 広げましょう!



看護連盟は看護協会の提言した政策を 実現するために国政に代表を送る役割を担っています

年会費

正会員·特別会員

看護職 替助会員

一般 賛助会員

学 生 会 員

图000,8

(日本看護連盟5,000円・) 岩手県看護連盟3,000円

101,000円20以上

101,000円10以上

無料

岩手県看護連盟へメール・FAX・TELで随時受付中

今年の夏は、連日の猛暑と寝苦しい日々が続き、皆様大変だったことと思います。お彼 🗦 岸が過ぎた途端に秋風を感じるようになりました。

今年は3年ぶりのお祭りが県内各地で開催されました。

懐かしく感じる太鼓囃子や花火の音に癒され、今後の活力へと繋げていきたいですね。 (広報/佐々木志津子・桑原美幸・野田真喜子・井上祐子・佐々木真理華・大澤眞子)



不要な羽毛ふとんはありませんか? 東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて





TUK Link Project



(個TUK 東洋羽毛北部販売株式会社 〒984-0032 宮城県山台市若林区荒井1-29-13

仙台営業所 10120-023-337

030-20230721-1